

令和 2 年度 学校評価 関係者評価票

学校名：兵庫県立千種高等学校

1 学校教育目標

郷土を愛する心と純真素朴な気風を育み、たくましい身体と強い意志をもって自立し、命と人権を大切に  
して社会に貢献する、こころ豊かで自立した人づくりをめざす。

2 重点目標

- ①地域になくってはならない「信頼される学校」、「魅力ある学校」づくりの推進を図る。
- ②特色ある3類型と特色ある教育課程を編成し、確かな学力と人間性をそなえた生徒の育成を  
図るとともに、自己実現と進路目標の達成を図る。
- ③教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。
- ④互いを認め合う望ましい人間関係を築きながら、食育・福祉教育や安全教育の推進を図る。

4 総合的な学校関係者評価

○コロナ禍のなかで各実践項目においてよく努力されている。  
○良好な評価になっているので、今後も千種高校に入学したいと思える学校にしていきたい。

3 自己評価結果

※評価点は、4点満点 ○：良好な評価 ◇課題等

No. 1

実践目標	実践項目	2年度 評価	昨年度	課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
1 地域になくってはならない「信頼される学校」、「魅力ある学校」づくりの推進を図る。	ホームページの充実を図り、学校の様子を随時発信する。	3.8	3.9	○ブログを毎日更新し、多くの保護者・関係者に喜んでいただいている。 ○他校の教員からも取り組みに対する連絡をもらうようになった。 ○生徒や学校の情報が学校内外によく共有されている。 ◇教頭に負担がかかり過ぎているように思う。	○コロナ禍のなかで種々可能なことを考えながら努力を重ねていることはすばらしいと思う。 ○ブログ等よく見させてもらい学校の状況等よくわかり良いと思います。 ○町外の生徒が多くなり、町内の行事(祭り等)にも参加がもっとできればよいと思う。 ○コロナ禍、地域との直接交わりが制約されている中元気いっばいな活動、さらには情報発信などよく頑張っていた。
	学校行事、授業参観等を実施し、開かれた学校づくりに努め、その感想や意見を学校経営に役立てる。	3.2	3.6	○ブログを公開していることで開かれた学校になっている。 ○アンケートの周知ができていたので授業等に反映しやすい。 ◇コロナにより学校行事のほとんどが不可となった。 ◇来年度は学校行事を録画やリモートで配信できないか検討したい。	
	生徒が地域と関わる機会を増やし、地域社会の発展を願う気持ちを高揚させる。	3.3	3.8	○千種以外の生徒も千種の行事に参加することができた。 ◇コロナにより地域行事や配食などが中止となった。 ◇雪かきや美化活動などできることをさがすようにしたい。	
	千種町園小中高連携一貫教育推進事業との連携を深め、まちづくり活動を推進する中で、「行きたい高校」として本校の存在を身近に感じさせる。	3.4	3.8	○交流授業や連携部活動などを通じて高校を身近に感じてもらっている。 ◇コロナで園小中と連携する行事ができなかった。密を避けて屋外や少人数での交流ができる行事を考えていきたい。	
	行事や授業を通じて「連携型中高一貫教育校」の定着、発展を図る。	3.3	3.6	○直接の交流がしばらく一年だったが連携部活動・生徒会活動・給食など可能なことを模索しながら頑張った。	
2 特色ある3つの類型と特色ある教育課程を編成し、確かな学力と人間性をそなえた生徒の育成を図るとともに、自己実現と進路目標の達成を図る。	挨拶の励行等基本的な生活習慣および品格ある自覚した行動の確立に努めさせる。	3.6	3.4	○町内だけでなく町外でも挨拶をする生徒が増えており、良い習慣が定着してきている。 ◇元気な挨拶ができるよう指導する。 ◇頭髪や服装の乱れを自ら直すことができるよう指導する。	○米作りで金賞となったことは本当にうれしいことである。 ○良好な数値なのでこれからもお願いします。 ○太鼓、射撃、スキーそして野球、目標を持って活動が出来、成果を残している。将来必ず役に立ってくる体力、精神力をこれからもますます培ってください。
	教科指導・総合的な探究の時間等を通して、生徒が自己の意見を論理的に明確に表現できるよう指導に努める。	3.7	3.5	○生徒が先生になって行う授業など、興味のある分野での表現力を培うなど良い取り組みが できている。 ◇教科指導においてはグループワークがあまりできなかったので指導がしにくかった。	
	ふるさと貢献活動、就業体験、ふれあい育児等の体験的活動を多く取り入れ、生徒個々の自己有用感を高める。	3.6	3.6	○直接会って行う行事が実施しづらいなか、米作りで金賞を獲得するなど地域活性化に貢献できた。 ○就業体験ができないかと思っていたが、地域の方々の協力により回数は例年より少なくなったが、体験をすることができ、生徒の自己有用感が高まった。	
	部活動、委員会活動への参加を積極的に推進し、充実した高校生活を支援する。	3.7	3.5	○コロナ禍で制限のある中でどの部も工夫し頑張った。 ○生徒会が新しい企画に挑戦していることがよい。 ○トラブルが発生しても顧問と学年が連携して対応している。 ◇退部した生徒をどのように指導するかを考える必要がある。	
	進路説明会やLHR・面談等を通じて、主体的な進路選択能力の育成を図る。	3.5	3.4	○個々の生徒の希望に応じた進路指導ができている。 ○担任の個人面談が大きな力となっている。 ◇進学した場合の費用などを踏まえた指導が必要である。	
	体育的諸活動を通して、心身を錬磨し、将来の社会生活でたくましく生きる体力・精神力を養う。	3.6	3.4	○マラソン大会は悪天候のため実施できなかったが、授業では教員も一緒に走るなど体力以外 の面でも学べたと思う。 ○アクティブや体育の授業の見学や欠席が少なく、積極的に体を動かし基礎体力を身につけて いる。	

	実践目標	実践項目	2年度 評価	昨年度	課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
12	教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。	各教科において、授業研究など学習指導について工夫・改善を行う。	3.4	3.4	○ICTを活用した授業がより進んだ。 ○教科内で常に相談しながら指導を行っている。 ◇生徒から授業の評価を聞く機会をつくる必要がある。	○課題の出し方や勉強嫌いの生徒への対応など、個々の生徒に対して真剣に指導方法を考えてくださっており、有難く思う。 ○先生方の指導により、いろいろ資格等取れていて良いと思います。 ◇コロナが収まればいろいろな職業の人の話を聞く場があれば良いと思う。 ○和田山高との遠隔授業、新聞報道にもあったとおり辺地でのこれからの教育方針に取り組んでおり、大いに協賛する。 ○お米甲子園金賞、タイムリーな広報は非常に良かった。もちろん生徒の努力によるものですが、支援してくれた地域の人たちへの感謝もわすれないように。
13		教科の枠を超えた授業の公開や研修会によって相互に研鑽する。	2.6	3.0	◇教務を中心にグループ分けをして必ず公開授業期間に見学するといった取り組みが必要である。 ◇公開授業への参加が難しい。	
14		地域の人材や素材を活用した特色ある授業の取り組みを行う。	3.7	3.5	○地域の協力や助けがあり多くのことが実施でき成果も収められている。 ○市・JA・商工会など多くの団体に協力の申し出をしてもらっている。	
15		生徒の実態や能力に応じて、個に応じたきめ細かい学習指導を実践する。	3.7	3.4	○3類型の特徴を生かし、個に応じた指導ができています。 ○放課後の居残り勉強に付き添うなどよく指導されている。	
16		課題や宿題の指導を通して、家庭学習の習慣化を図る。	3.1	3.0	◇家庭学習が一人ではできない生徒への対応として、授業中での課題時間を作り習慣化につなげる。 ◇課題が提出できないことから不登校になる生徒もおり、どのように課題を出すか難しい。	
17		基礎学力の定着や資格取得のための補習を実施する。	3.3	3.0	○簿記の補習などしっかり取り組んでいる。 ○生徒の希望に応じて行うことができた。 ◇勉強嫌いの生徒にどのように学習意欲を持たすかが課題である。	
18		家庭連絡や家庭訪問を通して、保護者との情報交換や意思の疎通を図る。	3.3	3.3	○体調や情緒面も家庭と密に連絡をとることができている。 ○細やかで丁寧な情報交換ができている。 ◇夕方留守番電話になるため、保護者からの連絡が難しくなっている。	
19		生徒の進路希望を達成するために、情報の収集や提供を行い、適切な進路指導を行う。	3.5	3.5	○校外やリモートでの進路ガイダンスなど多く実施されている。 ○自分の進路にもっと関心を持たしていくべきだ。	
20	互いを認め合う望ましい人間関係を築きながら、食育・福祉教育や安全教育の推進を図る。	マナーや規律、規範意識を高める取り組みを、ホームルーム、生徒会活動等で行う。	3.6	3.5	○インターネット使用時のトラブル防止やマナーアップについて生徒会が中心となって意識向上に努めている。 ○生徒会による主体的な活動により学校が引き締まり良い雰囲気になっている。 ◇生徒同士で服装の乱れを注意できるようにしたい。	◇インターネット等のトラブル防止、マナーアップについて意識向上に努めていることは大切なことで、これからますます複雑化する情報に対してモラルの育成に努めることは必要なことである。 ◇互いを認め合うことでいじめ等を防止できると思います。
21		生徒一人ひとりの役割や居場所を、クラスの中や様々な教育活動の場において設定する。	3.7	3.6	○勉強や部活だけでなく、クラスのムードをアップさせる生徒がいる。 ◇保健室以外に生徒がリラックスできる教室があればよいと思う。	
22		生徒の個人面談や、日頃の声かけ指導を積極的に行う。	3.6	3.6	○担任を中心に朝の登校指導など多くの教師が声かけを行っている。 ○生徒の些細な変化に気づき、情報共有ができている。	
23		防災教育や安全教育を、ホームルームや学校全体で行う。	3.6	3.3	○避難訓練や防災士による各学年ごとの防災教育が実施できた。 ◇教職員全員が、消火器や消火栓の場所等をしっかり把握する必要がある。	
24		人権に関わる課題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に努める。	3.3	3.1	○相手のことを考えて行動するよう呼びかけができた。 ◇表面化しないSNSでの問題等がないか心配である。	
25		教育活動全般を通じて、情報の活用に伴う情報モラルの育成に努める。	3.5	3.4	◇生徒会を中心によく活動できていると思うが、表に出てこない問題がないか心配である。 ◇メディアコントロールをもう少しする必要がある。	
26		キャンパスカウンセラーと連携を密に取るなど、特別な支援を要する生徒や悩みを抱える生徒の支援体制を作る。	3.6	3.5	○不登校傾向の生徒や精神的に問題を抱える生徒に積極的にカウンセリングの呼びかけを行った。 ○生徒がカウンセリングを受けやすい体制がとれている。 ◇生徒の自発的な希望ができるしくみを改善していきたい。	
27		ホームルーム活動等を通じて、いじめ未然防止に向けた取組を行っている。	3.4	3.4	○いじめアンケート等を活用しながら細かく生徒の様子を共有し、未然防止につながっている。 ○日頃から生徒の変化に気づくように心がけ、異変があればすぐに情報を共有できる体制ができている。 ◇SNSで匿名での悪口の書込などの指導をしていかなければならない。	
28	自然や人と関わる体験活動、食育等を通じて、心身ともに健康で命を大切にしている生徒の育成に努めている。	3.6	3.6	○給食や米作りを通して食育ができていると思う。 ○本年度は給食の残食がほとんどなかったように思う。		